

メーカーによる様々な工夫と創意による

機器の技術革新が 新たな『医療レーザー脱毛』の 選択肢となる



患者様により施術方法は様々で、レーザー脱毛はその選択肢の一つ

近年の革新的なレーザー機器の出現で、医療レーザー脱毛も変わりつつあります。もちろん脱毛する箇所によってレーザー機器を使い分けたり、また患者様によっては痛くても効果があれば良いというお考えの方もいます。これは患者様おひとりお一人によって施術方法を考えてご提案していくという、患者様から見ると沢山の選択肢が生まれる結果になりました。患者様にとってもより多くの選択肢を選んで施術を受けられるのは、自分が何が良いか何に向いているのか、ということをお考え頂くいい機会だと思います。

例えば、機器の発展と共にエステティックサロンでも光脱毛をすることが可能となりました。患者側の視点からは同じように思えるかもしれませんが、実際に使用する

10年前と異なる患者様の要望をどう汲み取っていくかが課題

この数年で変わったことは、レーザー機器の登場だけでなく、患者様の考え方や男性患者様の登場です。男性誌やインターネットで「ヒゲ」脱毛が一般的になりつつあります。これはお洒落という側面だけでなく、物理的にカミソリ負けする患者様には好評を頂いています。女性のワキと違い、太くて固いヒゲにも医療脱毛は有効なのです。

一方で女性患者様は、最初はワキで来院される方も腕や脚に移行される方もいらつしやいます。また何より知識量が昔とは異なってきました。逆に言うと機器有りきでご来院されるという事もあります。情報過多で様々な口コミがあるけれど、いざ施術を受けると「感覚」として異なる。この辺りは患者様とよくお話をして、何が適切で何が不要なのか。痛みが少ないことが効果に反映しないのではないかと、といった

機種、出力など多くの面で違いがあり、その効果の持続性やトラブルの対処なども十分というのがエステ業界の現状だと思います。何故エステを引き合いに出したかという点、患者様には「医療脱毛」の良さが伝わりきれないように感じるからです。最近雑誌やインターネットで、医療脱毛もだいたい認識されてきました。しかしその事で逆にエステと混同される患者様もいらつしやいます。私のクリニックでもそのような患者様は来院されますが、説明や施術結果などを通じて、その違いを実感され、エステとは異なった医療レーザー脱毛に対する理解が得られます。そして何よりリピートされますし、また別の施術を希望されたりと、信頼関係が構築されるようになります。

疑問を医師側が払拭しなければなりません。そのような中、医療レーザー脱毛は痛みの少ないものや早く処理できるものなどが登場しており、技術革新が進んでいると思います。これは患者様にとっては一つの選択肢であり、また各社様々な創意工夫があることで、患者様の身体の部位や肌状態によって選択できる幅が広がってきたと思います。

患者様から支持を頂いているクリニックとは「常に患者様にとって結果が良いければニーズは続く」という事だと思えます。患者様に知識が増える事はとても良いことで、美容医療の良い所がますます浸透してきたのだと思います。だからこそ患者様がより沢山の選択肢の中から施術を選んで頂けるように、クリニック側も努力する必要があると思います。



院長
宮田成章先生
みやた形成外科・
皮ふクリニック

平成2年防衛医大卒
卒業後、防衛医大形成外科及びその関連施設にて
研修・勤務。その後、札幌医大形成外科勤務。
この間、美容外科クリニックにて美容外科医の研修。
平成9年11月、市立室蘭総合病院形成外科医長。
平成12年5月、スキンケア・美容外科の啓蒙・
普及を目指し、医療法人のもと虎ノ門形成外科・
皮ふクリニック院長就任。
平成16年5月、医療法人の事業再編に伴い独立
みやた形成外科・皮ふクリニック開設。

圧巻のレーザー機器群！

みやた形成外科・皮ふクリニック

東京都港区西新橋 2-5-11NTKビル3階 TEL 03-5510-3931 <http://www.toracli.com/>